

## 読売新聞 きょう（10月19日）のイチ押し

### 1面・社会面・スポーツ面 デアリングタクト、無敗で牝馬三冠

中央競馬の秋華賞（G I）が京都競馬場であり、デアリングタクト（メス3歳）が優勝しました。桜花賞、オークスと合わせ、史上初の無敗（5戦5勝）で「牝馬（ひんば）三冠」を達成しました。

- ★ デアリングタクトは、北海道日高町の、夫婦ら4人で営む小さな牧場で生まれ、育ちました。
- ★ 母親が未勝利馬。0歳時の競りでは買い手が見つかず、翌年、平均落札額4600万円の競りで、1200万円で買われたそうです。

### 社会面 自転車保険 都道府県・政令市の半数超で条例

自転車事故の賠償金などを補償する自転車保険への加入を義務付ける条例について、47都道府県と20政令市のうち、努力義務を含めて半数超の28都道府県11市が制定していることが、読売新聞の調査でわかりました。

- ★ 小学生男児が起こした事故をめぐり、神戸地裁が約9500万円の賠償を命じる判決を出したのをきっかけに、兵庫県が全国初の条例を施行して今月で5年を迎えました。
- ★ コロナウイルスの影響で満員電車を避けて通勤用に自転車を使う人も増えています。新たに3県が年度内に条例を制定する予定です。

### 他紙と比べて

アメリカの大統領選は、一般有権者の投票で「選挙人」が選出され、その選挙人の投票で大統領が決まります。一般投票は11月3日に迫っています。国際面の隣の6ページに組み込んだ「見る」面には、ちょっと変わったアメリカの地図を載せました。地図の各州の大きさは、割り当てられた選挙人の数です。「接戦州」といわれる12州が、選挙人総数の大きな割合を占め、4年前にトランプ氏の勝因になったことが、よく分かります。